

ここに灯あればいのちに光あり



浄運寺だより

2025(R 7)6.20
発行 浄運寺
印刷 久野印刷



「前に生まれん者は後を導き。

後に生まれんものは前を訪え」

これは、親鸞聖人の主著である『教行信証』の後序にある言葉です。聖人は師と仰ぐ法然聖人との出会いが、自分の人生において大きな意味を持つものとなったことを体感されました。そこで、道綽禅師のこの言葉を引用されました。



先日、同じ那珂組内のお寺において住職継職法要が厳修されました。若いご住職の決意に満ちたお顔を拝しながら、私は自分の継職法要を思い出していました。先代、先々代が守り伝えてきた法灯を継承し歩み始めることの責任の重さを実感するとともに、そうやって伝えてきてくださったからこそ自分がバトンを受け継ぐことが出来る喜びを感じていました。

自然災害や感染症流行、物価の上昇、米不足など、思いもかけない出来事が私たちの歩む道に立ちはだかります。また、信じられないような事件や事故も頻発します。こんな厳しい状況のなかにあつても気がつけば手を合わせお念仏申す身となっている私です。先を歩んでいかれた方々が私をお念仏の道へ導いてくださっているのだなと気付かされます。

親鸞聖人は数限りない迷いの人々が一人残らず救われていく道をお示し下さいました。そのことにただ感謝です。
(釋義章)

新総代会長ご挨拶



新緑の候 皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さてこのたび門徒総代会長という大役を仰せ付けられました金堂雅文(釋真文)と申します。

振り返りますと、中学の時、前坊守さんに旧本堂奥の客僧部屋にて近くの友達と一緒に勉強を教えてもらったのが懐かしく想い出されます。

現在では、いろんなサークル活動が活発であります。また「こども食堂」を始め、子供達も気軽に遊びに来て自由に本を読むような、よい雰囲気であります。

私も微力ながら皆様と共に心休まり親しみやすいお寺さんにと努めてまいりたいと存じます。

合掌

浄土を疑う衆生をば無眼人とぞなづけたる

信心のさだまるときにながく生死をばへだてそうろうぞかし

歎異抄第十五章



十二月三十一日、ローズハウスにて「テンプルバー」が開かれました。
お寺で飲食を共にして気軽に語り合うことの出来る空間を用意させていただきました。世代を超えて空間を共有し集う時間は、楽しく、有り難く仏法のご縁をあらためて感じさせていただく一時でした。
次回開催は改めて告知いたします。

那珂組 門信徒のつどい



除夜会



十二月三十一日、今年も無事に除夜会が行われました。天気にも恵まれ、雨も降らず、穏やかな夜でした。
たくさんの方々がご参拝くださり、御尊前に一年の感謝をお伝えし、新しい年を迎えるごあいさつをされていました。
皆さまの思いが静かに響く、心温まる新年となりました。

たねもあり土あり水あり光あり春夏秋冬おみのりにあう

安部克己

那珂組門信徒のつどいが、三月六日に開催されました。那珂組二十九ヶ寺より門信徒の代表者がつどい、お勤めの後、ご講師に社会福祉法人光明童園理事長である、堀浄信師(水俣市・西念寺)、ゲストに羽衣国際大学の教授である、にしゃんた氏をお迎えし、堀氏には児童養護施設のお話、にしゃんた氏には仏教の叡智と多文化共生社会、人權の視点を交え、お話いただきました。



ご縁ご縁みなご縁 こまったこともみなご縁

熊本県 木村無相

那珂組上組 法中報恩講

二月二十一日、那珂組上組の法中報恩講が浄運寺を会所として厳修されました。

この報恩講は、那珂組上組十二ヶ寺の持ち回りで行われており、今年は浄運寺がその役を務めました。

当日は、新たに調えられた打敷が本堂を荘厳に彩るなか、厳かな雰囲気のもと法要が営まれ、参詣者一同、親鸞聖人のご恩徳をあらためて深く味わうご縁となりました。

法要の後には、鞍手組 真教寺の星野奏真師をお迎えし、御法話をいただきました。

厳しい寒さの中にも、仏縁のあたたかさが心にしみる一日となりました。



打敷とは？

打敷とは、本堂や仏壇を飾るための仏具です。それぞれの法要やお彼岸などの際に掛け、普段はあまり使用されません。もともとはお釈迦様が説法をなさる際、座るのは地面や石の上だったため、弟子たちがお釈迦様の座るところに感謝や尊敬を込めて自分たちの着物や花を敷いたり、飾ったりしたことが打敷の始まりであると考えられています。



前回の浄運寺だよりから連載を開始しました、『京都へ行くなら、お西さん』ですが、もっと分かりやすくお伝えするために本願寺コラムというテーマに変更しお届けすることにしました。

さっそく、今回は荘厳についてです！荘厳とは、仏像・仏堂・仏壇を整え美しく飾ることを意味する仏語です。信は荘厳より生ずという言葉があります。それは荘厳によって阿弥陀如来のご本願を聞き、それが信心を深めていくことに繋がるということを表しているのではないのでしょうか。

上の記事にて打敷について興味を持たれた方、浄運寺や西本願寺でも様々な場面で違った荘厳が施されています。雰囲気の違いも楽しみながらぜひご覧ください！

どこにも助かるすべのないもののためにただ一つ開かれた道が念仏

暁鳥 敏

生きた言葉には匂いや響きがあるので

大峯 顕

仏の光明はあまねく世界を照らし、念仏の人を救い捨てることのない

観 経



四月六日、浄運寺花まつりが開催されました。
お天気にも恵まれ、多くの方々がお越しくださいました。
本堂の中では、古本、仏具販売や、ピーチエによるネイル、筑紫仏像彫刻教室などが行われ賑わいました。
また、アトラクションは浄運寺各サークルによる出し物により盛り上がりを見せ、HIGH DRIVEというジャズバンドの方々がゲストにお迎えし、その音色に聞き惚れるひとときとなりました！

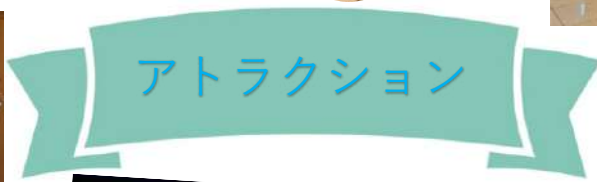


ピーチエによる
ネイル →

←彫刻体験



↑ 本堂にて古本、仏具販売



浄運寺チャンネル 右の QR コードよりアクセスできます。



ただ如来に まかせまいらせ おわしますべく候う

永代経法要

五月二十二・二十三日、永代経法要が厳修されました。永代経は、過去の先人たちと同じようにみ教えを聞き喜び、未来へと永代にお念仏が相続されることを喜ばせていただく法要です。

ご講師に、佐賀県神埼市脊振町・最勝寺の田中信勝師をお招きし、永代経の意味や私たちの人生についてお釈迦さまのお説きくださったことをお話しいただきました。



ナムナムサロン 仏教に学ぶ会

浄運寺では奇数月第四土曜日にナムナムサロン、偶数月第四土曜日に仏教に学ぶ会を開催しています。ナムナムサロンでは、ご法話の聴聞やおしゃべり、むかし遊びなどを行っています。五月のナムナムサロンでは、牛乳パックで小物入れを作りました。みんなで楽しい時間を過ごしましょう。仏教に学ぶ会では、みなさんでおつとめをした後、僧侶により約四十五分程度ご法話をいただきます。ちょっとお話を聴いてみませんか。

令和七年の予定

仏教に学ぶ会

午後三時～四時

法要室にて

六月二十八日

八月二十三日

十月二十五日

十二月二十七日

ナムナムサロン

午後一時～二時

ローズハウスにて

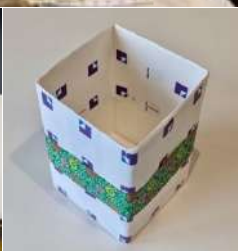
七月二十六日

九月二十七日

十一月二十二日

※予定は変更される場合があります

末燈鈔



毎日家庭で仏参、月に一度はお寺へ、年に一度は本山へ

如来誓願の葉は よく智愚の毒を 滅するなり

教行信証・信文類

善人なおもて往生をとぐ いわんや悪人をや

仏事作法や
仏教のお話

浄運寺仏教壮年会のご案内

日時 偶数月末水曜日

十九時半～二十一時半

場所 浄運寺ローズハウス

参加ご希望の方は事前に下記連絡下さい

こども食堂・コミュニティ食堂
元気ワクワク料理クラブ

元気ワクワク料理クラブの取り組み
は2025年7月より10年目に入ります

Lunch Morning

モーニング

ランチ

スケジュール

モーニング	ランチ
6月7日	6月21日
7月5日	7月19日
8月2日	8月16日
9月6日	9月20日
10月4日	10月18日
11月8日(第2土曜)	11月15日
12月6日	12月20日

モーニングは第1土曜日
ランチは第3土曜日開催

どなたでもご参加出来ます。お気軽にお問い合わせ下さい

かすが
居場所づくり
ネットワーク
Kasuga Ibasho-zukuri Network



Instagram
浄運寺公式インスタ



歎異抄

人間そのものの目ざめを呼びかけるものが 如来の本願である

中西 智海

「永代供養」と「永代経」は似たように聞こえますが、その意味合いは大きく異なります。

永代供養とは、故人やご先祖の供養をお寺にお願いし、長く供養を絶やさぬようにとの願いから生まれたものです。これは亡き人のための「追善供養」が中心となります。

永代経とは「永代にわたりお経が読まれる」という意味であり、単なる故人供養ではなく、仏法が未来にわたって伝えられていくことを喜ぶ法要です。

永代経は、私たちが「ご先祖にしてあげるもの」ではなく、「ご先祖からいただいた仏縁を、私が今いただいている」という感謝のあらわれです。お念仏を称える身となったのは、まさにご先祖が仏縁を大切にしてくださったおかげです。だからこそ、永代経とは、私自身がその教えを聞き、お念仏を申させていただくことの喜びと感謝を、次の世代へとつないでいく法要なのです。



浄土真宗
仏事と作法

永代経

念仏成仏これ真宗万行諸善これ仮門

白雲句歌集

満月や亡き人々に手を合わす
伊勢花火 膝の痛みをなぐさめよ

いの

俳句・短歌 募集

浄運寺では俳句、短歌、川柳などを募集しています。

今後の「浄運寺だより」に掲載予定です。

生誕記念日のお祝い

誕生

1万日

今年 27 歳になる方

2万日

今年 54 歳になる方

3万日

今年 82 歳になる方

4万日

今年 109 歳になる方

該当される方は

お知らせください。

記念品を用意しております

浄土和讃

2025 KASUGA JOUNJI BOOKFES

第8回

福岡市古書籍商組合主催

春日・浄運寺 古本まつり



令和7年 10月25日(土)

～ 11月3日(月・祝)

開店時間 10:00～17:30

(最終日は16:00まで)

Baby Station

赤ちゃんの駅



赤ちゃんの駅

浄運寺では赤ちゃんの駅として、授乳の場の提供・オムツ替えの場の提供・ミルク用お湯の提供が出来ますので、お気軽に寺務所へお尋ね下さい

浄運寺寺務所

9:00-18:00

Terakoya

中高生向け自習スペース

浄運寺寺子屋

ローズハウスにて
毎週月曜日開催中
どなたでも参加出来ます
19:00～21:30

如来さまより最も遠い身が 実は最も近い身でありました

和氣良晴

行事案内

*予定は変更になる事があります

*孟蘭盆会(門徒合同盆法要)

八月十日(日)

朝九時・十一時

昼二時・夜七時

場所 ホールアショーク
(蓮華廟ホール)

*お盆にんぶちまい(念仏廻り)

八月十五日(金)

夕方五時より

場所 浄運寺境内

浄運寺ミテラエイサー会による

エイサーが披露されます。

*彼岸会

九月二十五日(木)・二十六日(金)

昼一時三十分・夜七時三十分

ご講師 藤岡義尚 師

指宿市・乗船寺

*第8回

春日・浄運寺古本まつり

十月二十五日(土)・十一月三日(月)

場所 ホールアショーク

ご家族おそろいで御参詣ください
聖典・念珠をお忘れなく

*報恩講法要

十一月二十四日(月)・二十五日(火)

昼一時三十分・夜七時三十分

昼座の前にお斎の用意があります

ご講師 北嶋文雄 師

筑前町・光蓮寺

*キッズサンガ 成道会

十二月七日(日) 九時三十分

*除夜会

十二月三十一日(火) 夜十一時

寺内ご報告

今年度より総代会へ新しく白水秀則さんと花田洋一さんが加わりました。

そして、松尾茂憲さんと森山泰久さんが退任されました。今まで有難うございました。

松尾茂憲さんの退任に伴い、総代会会長を上白水の金堂雅文さんが引受けて下さいました。よろしく願います。

境内山門横の花はイペーというブラジル原産の木です。毎年4月下旬頃咲きます。



浄土真宗本願寺派

浄 運 寺

816-0846 春日市下白水南 4-35

TEL 092-593-1111

FAX 092-593-2200

E-mail: info@jounji.com

HP: www.jounji.com

他力と言うは如来の本願力なり

おおいなるもののちからにひかれゆく わがあしあとのおぼつかなしや 九條武子